# 画像解析を用いたマウスの製作

20j5141

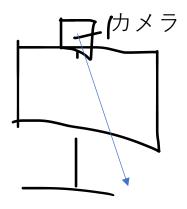
渡部皓太朗

### マウスの使い方(予定)

- 何かしらのウェイクワード的なもの(音声に限らず)でマウスを 起動する
- 指の動きに合わせてカーソルを動かす

## 使用するデバイス

・カメラ



### 動かし方()

- ウェイクワードかを画像解析によって判断
  - : 真ならフラグを立てて待機次のフレームと前のフレームの差を解析してカーソルの 移動量を判定
  - : 偽なら待機

- 画像解析ー>K-mesnsとか(これ)
- 前処理一>2値化、S関数

#### 予想される問題

- 処理が間に合うか
- カメラのFPSを10にしても0.1秒以内の処理が必要
- 10FPSが実用に耐え得るか。。。
- windows のみかも(モジュールの関係で)

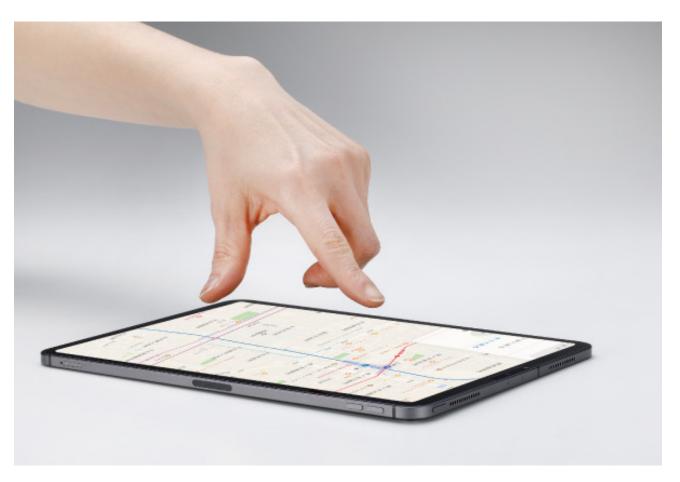
#### 4月14日分~

• 似たようなものが既にあるかどうか

• あった場合の代替案

#### 似たようなもの

- これ
- 非接触タッチパネル
- 差別化
  - パソコンで使う場合キーボードのホームポジションから大きく離れる



#### 代替案のメモ

- ドローンで遊ぶ
  - 上空から撮った写真で最適な経路を車(ラジコン)に。。。
- 睡眠
  - アイマスクでスマートバンドみたいな。。。
  - 最適な時間にledで照らして起こす
- neko
  - 猫の吐き戻しの予測

#### ドローンの安全飛行の補助

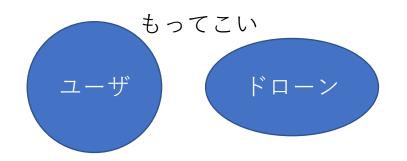
- ドローンが目視可能な場所
- 高さ150m以下

#### ドローンから携帯に充電する

- 飛行中のドローンに 5 G電波を用いて充電できる
- それを応用して空中のドローンから携帯に充電する

### ドローンでスマートハウス

• ドローンに物を持ってきてもらう





- ドローンの制御
- 音声認識
- 物体の検知
  - 画像解析
  - タグ

#### やること

- 画像解析
  - ドローンとPC(サーバ)を繋ぐ
  - 送受信
  - データを送った場所と解析結果を受け取るときの場所 の整合性を保つように
- 音声認識
  - 流用できそう
  - 対象は事前に登録しとく?

### 画像解析

- ドローンからPCに送る(参考)
- 対象物

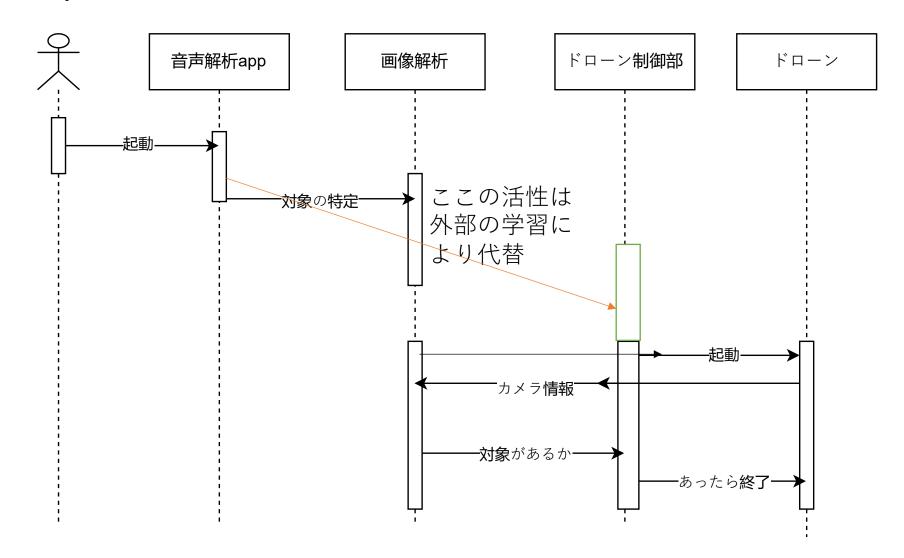
#### 研究の仮テーマ

- ドローン×音声認識×画像処理
  - ドローンに話しかける->ドローンが対象を持ってくる
  - 対象を事前に登録?
    - 研究においては手動で教師データ

#### ドローンの種類

- 家の中で使うからできるだけ小型
- 物を持ってくるなら十分な重量
  - どんくらいのものを持つか
    - TVのリモコンの重さは大体 100グラム

#### シーケンス



#### やること

ドローンに 命令

スマホと接続

ドローンに 接続

画像解析と 接続

音声解析

対象の検知

画像解析

PCと接続

学習

ドローンの 制御

> 対象物まで 移動

ユーザまで

カメラ部分

### ステートマシン

#### アクテビティ

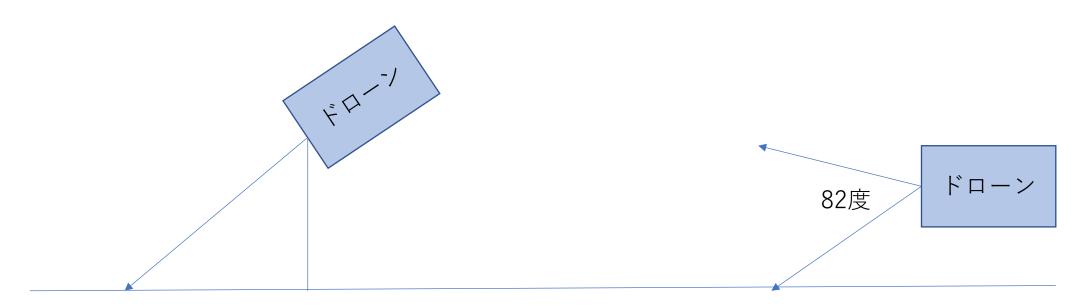
- 画像解析の学習
  - 対象物を事前に設定する方式か、リアルタイムに
  - Yolo、SSD、Faster R-CCNなどがOSSで使えそう
- PCとの接続
  - ドローンのみで解析できないから写真撮って送る
  - 解析結果がTrueの時にドローンを止める

#### telloの性能

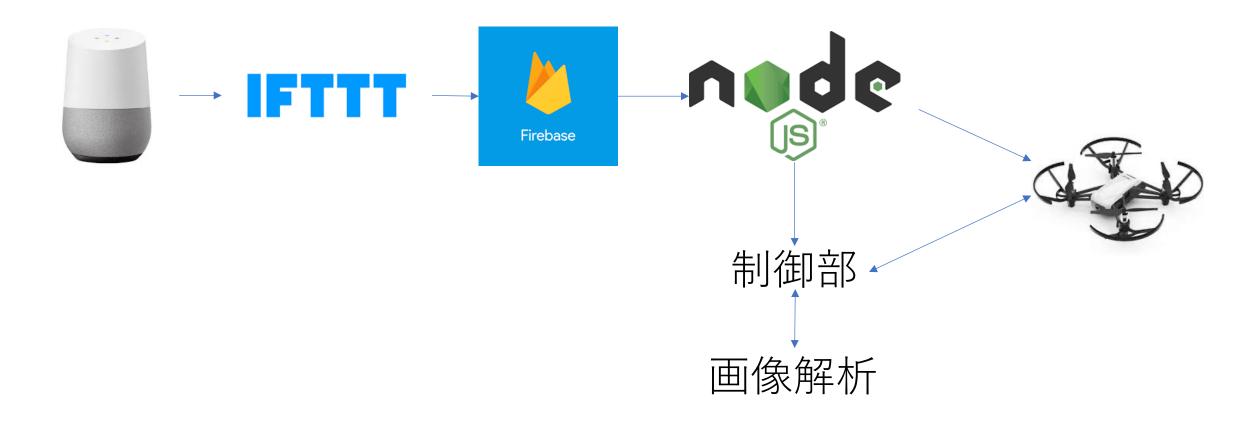
- 重量: 約80 g (プロペラとバッテリー含む)
- サイズ: 98×92.5×41 mm
- 最大速度: 8 m/s(速度の指定できる)
- 写真: 5MP(2592x1936)
- 視野角(FOV): 82.6°
- 動画: HD720p30
- 書式: JPG (写真)、MP4 (動画)

### ドローン触ってみた(tello)

- ・電池の消費やばめ
- ・うるさい
- カメラが水平方向固定なのでドローン自体を傾ける必要?



### 音声入力からの流れ



画像の出典適当にコピペしてきたから注意





# PCとドローン繋ぐ



8889ポート

対象物まで移動する

### やる

- pc->drone drone->pcに画像
- tello-pythonの

### telloPyを使うにあたって

- python2.7系を基に作られている
- 現行のpythonは大抵3系
- よって環境を整える必要がある
- MACならpyenvを使って3複数のpythonを切り替えて使えるpathの変更を忘れずに
- 文字列をバイトにしないとできないので
   out = response.replace(';', ';\text{\formula}n') を
   out = response.decode().replace(';', ';\text{\formula}n') に変更
- pythonで改行したい時 ¥を入れる

### 結局python3系で

参考サイトの多くが3系でやっている

anaconda でpython3.9の仮想環境を作った

conda create -n 環境名 python3.7

numpyとopencvをインストール

tello-pythonを有志の方がpython3にしてくれている(<u>これ</u>)

H.264を入れたいが元から入ってるやつはバグるので別途<u>これ</u>をクローンする

#### H.264のビルド

- cd h264decoder
- mkdir build
- cd build cmake ...
- cmake --build.

- ・元のを消す
- rm libh264decoder.so

#### tello.states

```
Tello State:
• mid:-1;
• x:-100;
• y:-100;
• z:-100;
• mpry: -1, -1, -1;
• pitch:0;
• etc..
```

こんな感じでとりあえず接続 できた

#### メモ:モジュールの注意

- tello-pythonに入ってる参考プログラムのモジュールは元から 入っている libh264decoder をインポートしている
  - → import h264decoder as libh264decoder 元のをコメントアウト
- condaの仮想環境の起動
  conda activate 環境名
  conda deactivate 環境名

### ドローンに割り当てられたIPを調べる

• アプリやwifi(本体)の設定で調べられる。



#### 音声認識->PC->ドローン

```
・確実にPCに二つの経路が必要
→ドローンをwifi子機にしないと!
>>> import socket
>>> tello ip = '192.168.10.1' >>> tello port = 8889 >>> socket =
socket.socket(socket.AF INET, socket.SOCK DGRAM)
>>> tello address = (tello ip , tello port)
>>> socket.sendto('command'.encode('utf-8'),tello address)
>>> socket.sendto('ap wifi_no_ssid
password'.encode('utf8'),tello address)
これでtelloとwifiが繋がる?
```

- 前ページの操作によってドローンとPCが繋がってるはず
- 以前実行したtello\_state.pyの接続部分をコメントアウト
- ・→学内で実験する時、ドローンのIPわからん?

とりあえず家のwifiは管理画面からドローンのipを調べる

- ターミナル上で情報を入力しようとしたらバグった
- wifi\_ssid = input("Enter the SSID:")
- ~/tello/tello-python/telo\_single\_test/tello\_change\_ap.py
- ファイル構造が悪い?
- ターミナルの対話モードではinputできる
- プログラムを止めて stty sane と入力したら一時的に治った



### tello-wifi-pcで繋ぐことができた



tello change ap.py でtelloの設定をwifi子機に tello state wifi.py でtelloの状態を調べる

### 画像をpcに送る

/Users/kou/anaconda3/envs/tello/lib/python3.9/s ite-packages' (パスを通す)

#### リスク

	発生確率	大きさ(と対策
音声解析のアプリ		低:Gogole homeとの 接続
ドローンの制御		ドローン本体の機能 部屋の大きさを手動で
通信のラグ		ラグの予測、

### 倉庫

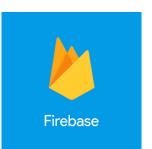








Python











#### メモ

- telloプログラムについて
  - tello動作中はコマンドを受け付けないため、適宜sleep(時間)入れる
- 1.有志によって解析されたバイナリデータを用いる方法
- 2.pipでインストールできるpythonライブラリ <u>TelloPy</u> を使う
- 3.Ryze Tech.が公開している Tello3.pyというサンプル (ただしポート番号がちょっと違う)
- 4.gitでダウンロードしてインストールする <u>DJITelloPy</u> を使う
- 5.DJI Tello-Python (<a href="https://github.com/dji-sdk/Tello-Python">https://github.com/dji-sdk/Tello-Python</a>)

#### メモ2

• 映像のポートは11111

#### 参考

- tello SDK日本語訳
- tello wifiルータと繋ぐ
- <a href="https://qiita.com/hsgucci/items/7067e356eda5ba2d8e73">https://qiita.com/hsgucci/items/7067e356eda5ba2d8e73</a> の最後の方に参考サイトがまとまってる